

# トランジスタ 3

本章はやや専門的ですが、試験によく出る四端子回路計算の練習問題として手頃なので、是非計算過程を自ら確認して頂くと良いでしょう。

## 7. 等価回路

### 7.1 バイポーラトランジスタの等価回路

#### (1) $T$ 形等価回路とパラメータ

表  $T$ パラメータ まとめ・・・p.6

#### (2) $h$ パラメータによる等価回路

#### (3) $z$ パラメータによる等価回路

#### (4) $y$ パラメータによる等価回路

##### (4-1) $z$ パラメータから $h$ パラメータを求める

##### (4-2) $h$ パラメータから $z$ パラメータを求める

##### (4-3) $h$ パラメータを $z$ パラメータを利用して $T$ パラメータで表す

##### (4-4) $T$ パラメータを $h$ パラメータで表す

表  $T$ - $h$ 変換 まとめ・・・p.14

#### (5) $F$ パラメータによる等価回路

#### (6) 高周波等価回路

### 参考資料

時田元昭、「トランジスタと半導体」、電波新聞社

奥沢清吉、「ビギナートランジスタ読本」、誠文堂新光社

押本、小林、「トランジスタ回路計算法」、工学図書

電気工学ハンドブックおよびインターネット上の各種公開資料

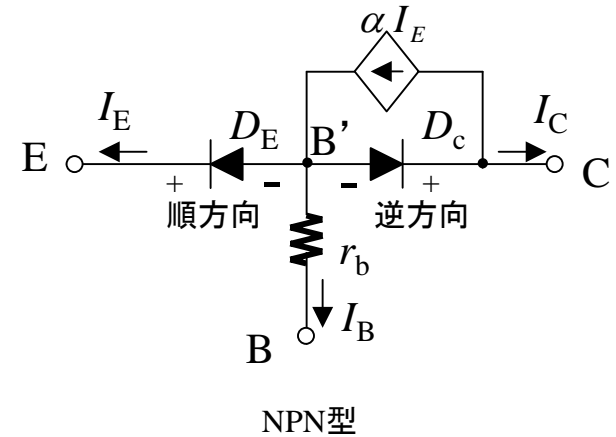
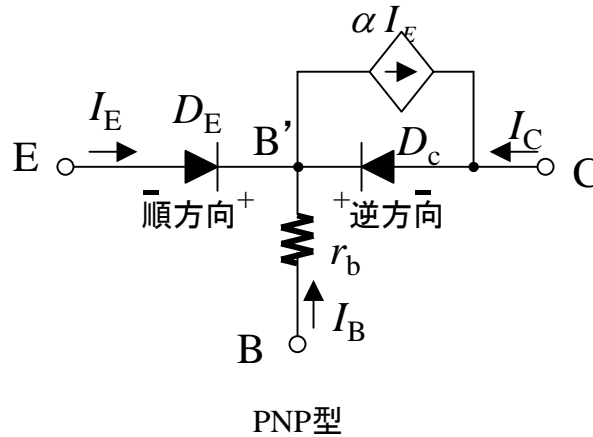
## 7.等価回路

### 7.1 バイポーラ型トランジスタの等価回路

#### (1) T形等価回路

##### a. 直流等価回路

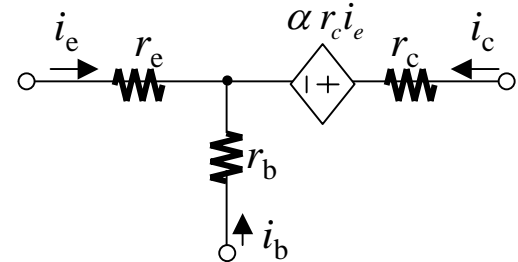
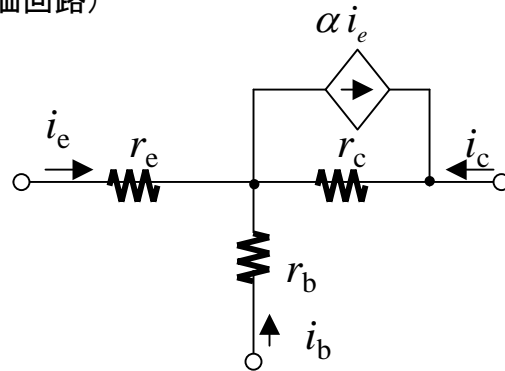
直流等価回路は、左図のように、2個のダイオード  $D_E$ 、 $D_C$  と定電流源  $\alpha I_E$  で表せる。 $D_E$  はエミッタベース接合で、順方向にバイアスされ、 $D_C$  はコレクタベース接合で、逆方向にバイアスされている。



◇ ± は従属電圧源、◇ ↓ は従属電流源を表す。

##### b. 交流等価回路(微小信号 T 形等価回路)

交流微小信号を扱う場合は、直流等価回路でダイオードは抵抗で置き換えられるので、NPN形もPNP形も同じく右a図のような等価回路で表すことができる(電流源の向きは逆)。さらに、電流源を電圧源に置き換えるとb図のようになる(次頁右側中段に変換についての解説あり)。

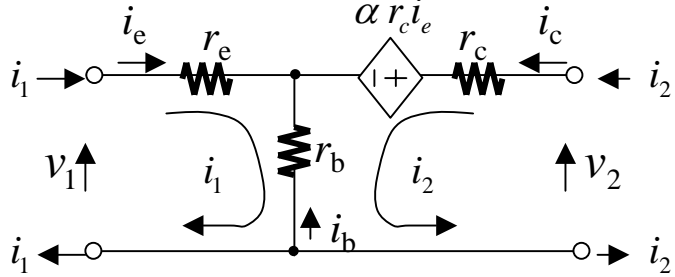


$r_e$  は1mA程度の小信号回路では25Ω程度、 $r_s$  は50~500Ω程度、 $r_c$  は数MΩ程度である。  
 $\alpha$  は1より僅かに小さい値、 $\beta$  は  $\alpha/(1-\alpha)$  で50~200程度である。

c. バイポーラトランジスタの接地方式別T形等価回路

a1. ベース接地回路の等価回路1 (PNP)

(a) ベース接地回路(PNP)



$$i_e = i_1, i_c = i_2, i_b = -(i_1 + i_2)$$

$$v_1 = r_e i_1 + r_b (i_1 + i_2)$$

$$v_2 = \alpha r_c i_1 + r_b (i_1 + i_2) + r_c i_2$$

が成り立つ。整理して、

$$v_1 = (r_e + r_b) i_1 + r_b i_2$$

$$v_2 = (\alpha r_c + r_b) i_1 + (r_b + r_c) i_2$$

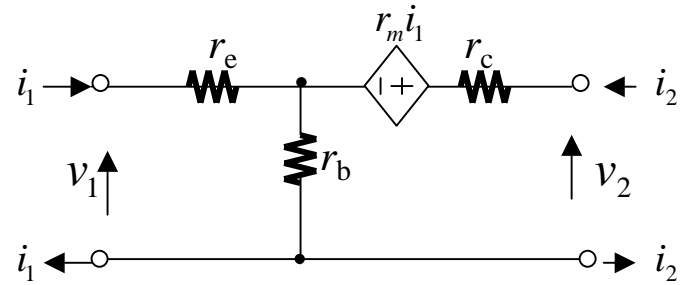
さらに、 $r_m \equiv \alpha r_c$  とおけば、

$$v_1 = (r_e + r_b) i_1 + r_b i_2$$

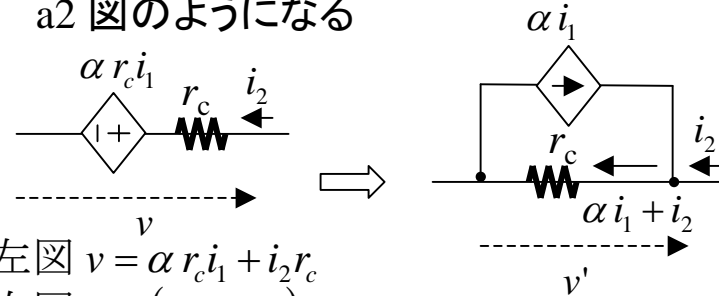
$$v_2 = (r_m + r_b) i_1 + (r_b + r_c) i_2$$

これに対応する回路は、a1図

のように表せる。



この図を、電流源回路に置き換えれば  
a2 図のようになる

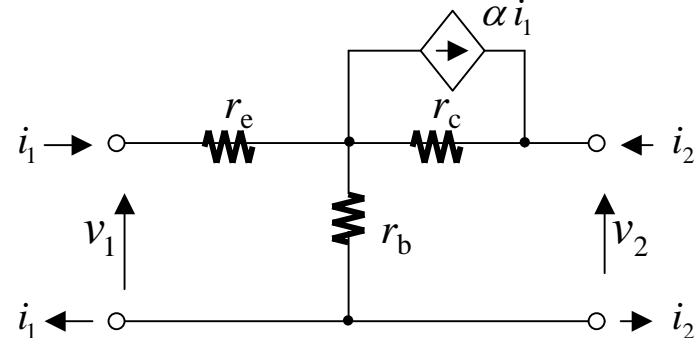


左図  $v = \alpha r_c i_1 + i_2 r_c$

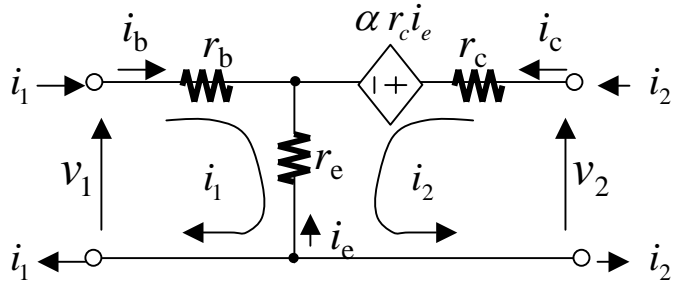
右図  $v' = (\alpha i_1 + i_2) r_c = v$

電圧源の内部Zは0、電流源の内部Zは $\infty$

a2. ベース接地回路の等価回路2 (PNP)



(b)エミッタ接地回路(PNP)



$$i_b = i_1, i_c = i_2, i_e = -(i_1 + i_2),$$

$$v_1 = r_b i_1 + r_e (i_1 + i_2)$$

$$v_2 = \alpha r_c i_e + r_e (i_1 + i_2) + r_c i_2$$

$$= -\alpha r_c (i_1 + i_2) + r_e (i_1 + i_2) + r_c i_2$$

が成り立つ。整理して、

$$v_1 = (r_b + r_e) i_1 + r_e i_2$$

$$v_2 = (r_e - \alpha r_c) i_1 + (r_c - \alpha r_c + r_e) i_2$$

$r_m \equiv \alpha r_c$  とおいて、

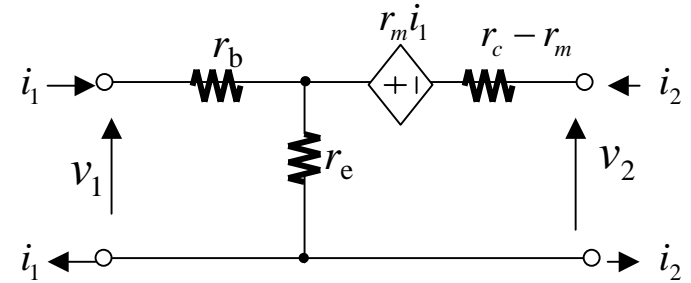
$$v_1 = (r_b + r_e) i_1 + r_e i_2$$

$$v_2 = (r_e - r_m) i_1 + (r_c - r_m + r_e) i_2$$

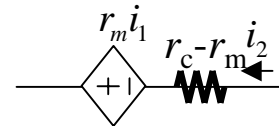
$$= r_e i_1 + (r_c - r_m + r_e) i_2 - r_m i_1$$

この式の関係を図示すれば、b1 図のように表すことができる。

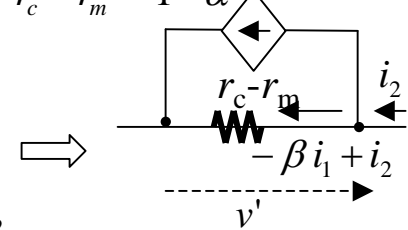
b1.エミッタ接地回路の等価回路1(PNP)



$$\frac{r_m i_1}{r_c - r_m} = \frac{\alpha}{1 - \alpha} i_1 = \beta i_1, r_m = \alpha r_c$$

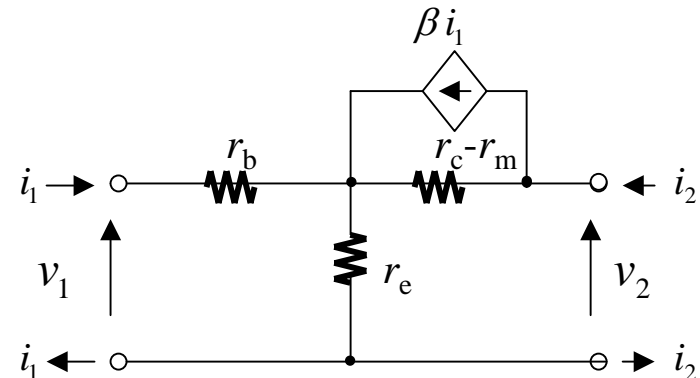


$$v = -r_m i_1 + (r_c - r_m) i_2$$

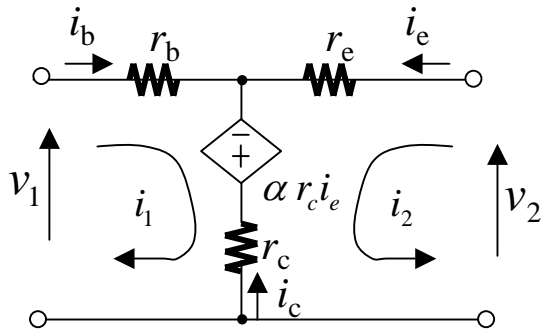


$$v' = -(r_c - r_m) \beta i_1 + (r_c - r_m) i_2 = -r_m i_1 + (r_c - r_m) i_2 = v$$

b2.エミッタ接地回路2(PNP)



(c) コレクタ接地回路(PNP)



$$i_b = i_1, i_e = i_2, i_c = -(i_1 + i_2),$$

$$v_1 = r_b i_1 + r_c (i_1 + i_2) - \alpha r_c i_2$$

$$= (r_b + r_c) i_1 + (r_c - \alpha r_c) i_2$$

$$v_2 = -\alpha r_c i_2 + r_c (i_1 + i_2) + r_e i_2$$

$$= r_c i_1 + (r_c - \alpha r_c + r_e) i_2$$

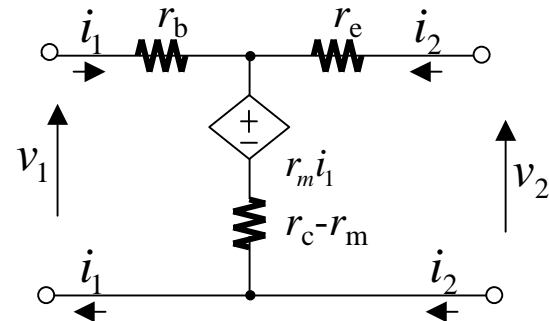
が成り立つ。  $r_m \equiv \alpha r_c$  とおいて  
変形すると、

$$v_1 = (r_b + r_c - r_m) i_1 + (r_c - r_m) i_2 + r_m i_1$$

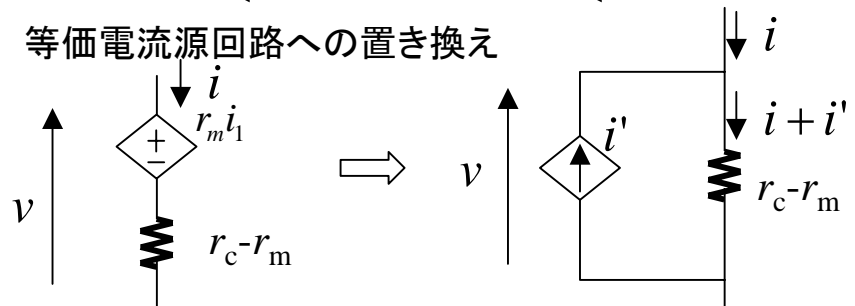
$$v_2 = (r_c - r_m) i_1 + (r_c - r_m + r_e) i_2 + r_m i_1$$

これから、c1図が得られる。

c1.コレクタ接地回路の等価回路1(PNP)



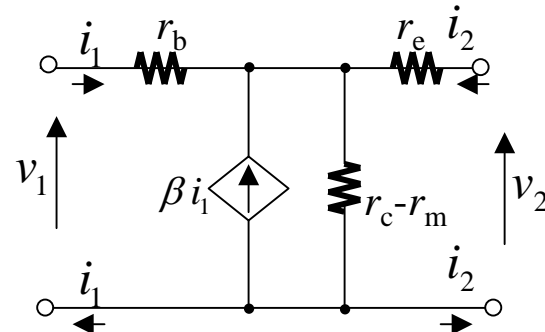
等価電流源回路への置き換え



$$v = r_m i_1 + (r_c - r_m) i = (r_c - r_m) (i + i') \rightarrow r_m i_1 = (r_c - r_m) i'$$

$$i' = \frac{r_m}{r_c - r_m} i_1 = \frac{\alpha r_c}{r_c - \alpha r_c} i_1 = \frac{\alpha}{1 - \alpha} i_1 = \beta i_1$$

c2.コレクタ接地回路の等価回路2(PNP)

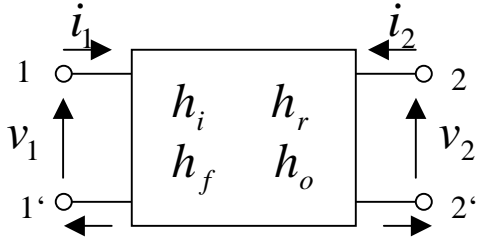


以上を集約すると次頁の表になる

Tパラメータまとめ	ベース接地回路(PNP)	エミッタ接地回路(PNP)	コレクタ接地回路(PNP)
回路原形			
従属(定)電圧源等価回路			
従属(定)電流源等価回路			
回路方程式	$v_1 = (r_e + r_b)i_1 + r_b i_2$ $v_2 = (r_m + r_b)i_1 + (r_b + r_c)i_2$ $r_m \equiv \alpha r_c$	$v_1 = (r_b + r_e)i_1 + r_e i_2$ $v_2 = (r_e - r_m)i_1 + (r_c - r_m + r_e)i_2$ $r_m \equiv \alpha r_c$	$v_1 = (r_b + r_c)i_1 + (r_c - r_m)i_2$ $v_2 = r_c i_1 + (r_c - r_m + r_e)i_2$ $r_m \equiv \alpha r_c$

## (2) hパラメータによる等価回路

hパラメータはトランジスタ回路では、測定が容易なこと、静特性と関連していることなどからよく用いられている。hはhybrid(混成、混合)のhである：1次2次、I,V,Z,Yが混合した式であるから。



次式が成り立つようにhパラメータを定める。

$$v_1 = h_i i_1 + h_r v_2$$

$$i_2 = h_f i_1 + h_o v_2$$

行列表示すると、次式になる。

$$\begin{bmatrix} v_1 \\ i_2 \end{bmatrix} = \begin{bmatrix} h_i & h_r \\ h_f & h_o \end{bmatrix} \begin{bmatrix} i_1 \\ v_2 \end{bmatrix}$$

hパラメータは次のように定義する。

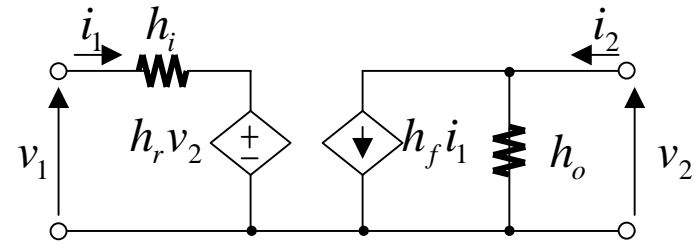
$$h_i = \left( \frac{v_1}{i_1} \right)_{v_2=0} : \text{input impedance with output short circuit}$$

$$h_r = \left( \frac{v_1}{v_2} \right)_{i_1=0} : \text{reverse voltage feedback ratio with input open circuit}$$

$$h_f = \left( \frac{i_2}{i_1} \right)_{v_2=0} : \text{forward current amplification with output short circuit}$$

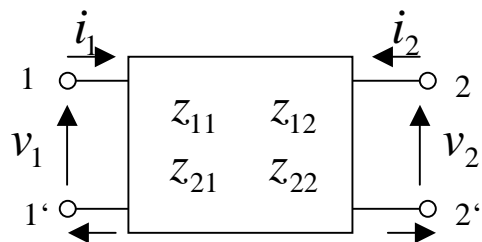
$$h_o = \left( \frac{i_2}{v_2} \right)_{i_1=0} : \text{output admittance with input open circuit}$$

hパラメータを用いて従属電源等価回路を作ると次図のようになる。



### (3) z パラメータによる等価回路

z パラメータは上記のT形パラメータから直ちに求めることができる。



次式が成り立つようにzパラメータを定める。

$$v_1 = z_{11}i_1 + z_{12}i_2$$

$$v_2 = z_{21}i_1 + z_{22}i_2$$

行列表示すると、次式になる。

$$\begin{bmatrix} v_1 \\ v_2 \end{bmatrix} = \begin{bmatrix} z_{11} & z_{12} \\ z_{21} & z_{22} \end{bmatrix} \begin{bmatrix} i_1 \\ i_2 \end{bmatrix}$$

$z_{ij}$  はインピーダンスの次元を持つ。

zパラメータは次のように定義する。

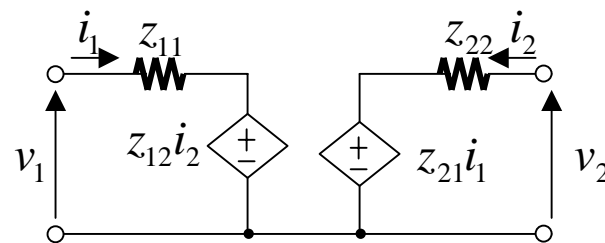
$$z_{11} = \left( \frac{v_1}{i_1} \right)_{v_2=0} : \text{二次側短絡時の入力インピーダンス}$$

$$z_{12} = \left( \frac{v_1}{i_2} \right)_{i_1=0} : \text{一次側開放相互インピーダンス}$$

$$z_{21} = \left( \frac{v_2}{i_1} \right)_{i_2=0} : \text{二次側開放時の相互インピーダンス}$$

$$z_{22} = \left( \frac{v_2}{i_2} \right)_{i_1=0} : \text{一次側開放時の出力インピーダンス}$$

z パラメータを用いて従属電圧源等価回路を作ると次図のようになる。



6ページの図の回路方程式から、各接地方式別のzパラメータは、

ベース接地

$$z_{11b} = r_e + r_b, \quad z_{12b} = r_b$$

$$z_{21b} = \alpha r_c + r_b, \quad z_{22b} = r_b + r_c$$

エミッター接地

$$z_{11e} = r_e + r_b, \quad z_{12e} = r_e$$

$$z_{21e} = r_e - \alpha r_c, \quad z_{22e} = (1 - \alpha)r_c + r_e$$

コレクタ接地

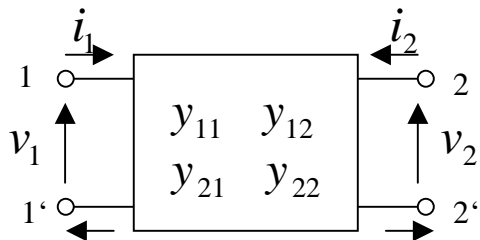
$$z_{11c} = r_b + r_c, \quad z_{12c} = (1 - \alpha)r_c$$

$$z_{21c} = r_c, \quad z_{22c} = (1 - \alpha)r_c + r_e$$



#### (4) yパラメータによる等価回路

yパラメータはzパラメータから逆行列として求められる。



または、  

$$\begin{matrix} y_i & y_r \\ y_f & y_o \end{matrix}$$

次式が成り立つようにyパラメータを定める。

$$i_1 = y_{11}v_1 + y_{12}v_2 = y_i v_1 + y_r v_2$$

$$i_2 = y_{21}v_1 + y_{22}v_2 = y_f v_1 + y_o v_2$$

行列表示すると、次式になる。

$$\begin{bmatrix} i_1 \\ i_2 \end{bmatrix} = \begin{bmatrix} y_{11} & y_{12} \\ y_{21} & y_{22} \end{bmatrix} \begin{bmatrix} v_1 \\ v_2 \end{bmatrix} = \begin{bmatrix} y_i & y_r \\ y_f & y_o \end{bmatrix} \begin{bmatrix} v_1 \\ v_2 \end{bmatrix}$$

$$= \begin{bmatrix} z_{11} & z_{12} \\ z_{21} & z_{22} \end{bmatrix}^{-1} \begin{bmatrix} v_1 \\ v_2 \end{bmatrix} = \frac{1}{|Z|} \begin{bmatrix} z_{22} & -z_{12} \\ -z_{21} & z_{11} \end{bmatrix} \begin{bmatrix} v_1 \\ v_2 \end{bmatrix}$$

ここに、 $|Z| = z_{11}z_{22} - z_{12}z_{21}$  である。

$y_{ij}$  はアドミタンスの次元を持つ。

yパラメータは次のように定義する。

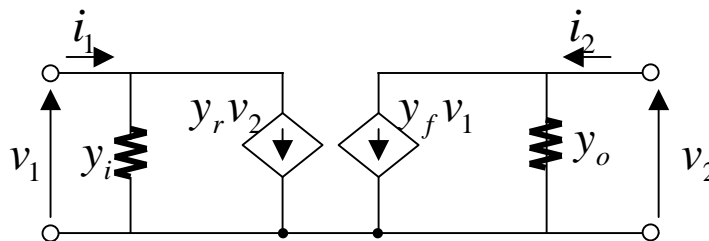
$$y_{11} = y_i = \left( \frac{i_1}{v_1} \right)_{v_2=0} \quad \text{: 二次側短絡時の入力アドミタンス}$$

$$y_{12} = y_r = \left( \frac{i_1}{v_2} \right)_{v_1=0} \quad \text{: 一次側短絡相互アドミタンス}$$

$$y_{21} = y_f = \left( \frac{i_2}{v_1} \right)_{i_2=0} \quad \text{: 二次側開放時の相互アドミタンス}$$

$$y_{22} = y_o = \left( \frac{i_2}{v_2} \right)_{v_1=0} \quad \text{: 一次側短絡時の出力アドミタンス}$$

yパラメータを用いて従属電流源等価回路を作ると次図のようになる。



#### (4-1) $z$ パラメータから $h$ パラメータを求める

$$\begin{bmatrix} v_1 \\ v_2 \end{bmatrix} = \begin{bmatrix} z_{11} & z_{12} \\ z_{21} & z_{22} \end{bmatrix} \begin{bmatrix} i_1 \\ i_2 \end{bmatrix} \dots (1) \text{ から、}$$

$$|Z| = z_{11}z_{22} - z_{12}z_{21} \text{ として、}$$

$$\begin{bmatrix} i_1 \\ i_2 \end{bmatrix} = \begin{bmatrix} z_{11} & z_{12} \\ z_{21} & z_{22} \end{bmatrix}^{-1} \begin{bmatrix} v_1 \\ v_2 \end{bmatrix} = \frac{1}{|Z|} \begin{bmatrix} z_{22} & -z_{12} \\ -z_{21} & z_{11} \end{bmatrix} \begin{bmatrix} v_1 \\ v_2 \end{bmatrix}$$

$$i_2 = -\frac{z_{21}}{|Z|}v_1 + \frac{z_{11}}{|Z|}v_2 \text{ を (1) の } v_1 \text{ に代入して、}$$

$$v_1 = z_{11}i_1 + z_{12}i_2 = z_{11}i_1 - \frac{z_{12}z_{21}}{|Z|}v_1 + \frac{z_{12}z_{11}}{|Z|}v_2$$

$$v_1 \left( 1 + \frac{z_{12}z_{21}}{|Z|} \right) = z_{11}i_1 + \frac{z_{12}z_{11}}{|Z|}v_2$$

$$v_1 = \frac{z_{11}|Z|}{|Z| + z_{12}z_{21}}i_1 + \frac{z_{12}z_{11}}{|Z| + z_{12}z_{21}}v_2 = \frac{|Z|}{z_{22}}i_1 + \frac{z_{12}}{z_{22}}v_2$$

$$i_2 = -\frac{z_{21}}{|Z|}v_1 + \frac{z_{11}}{|Z|}v_2 = -\frac{z_{21}}{z_{22}}i_1 - \frac{z_{12}z_{21}}{|Z|z_{22}}v_2 + \frac{z_{11}}{|Z|}v_2$$

$$= -\frac{z_{21}}{z_{22}}i_1 + \frac{v_2}{|Z|} \left( z_{11} - \frac{z_{12}z_{21}}{z_{22}} \right) = -\frac{z_{21}}{z_{22}}i_1 + \frac{1}{z_{22}}v_2$$

すなわち、

$$\begin{bmatrix} v_1 \\ i_2 \end{bmatrix} = \begin{bmatrix} z_{11} - z_{12}z_{21}/z_{22} & z_{12}/z_{22} \\ -z_{21}/z_{22} & 1/z_{22} \end{bmatrix} \begin{bmatrix} i_1 \\ v_2 \end{bmatrix}$$

$$h_i = z_{11} - z_{12}z_{21}/z_{22}, \quad h_r = z_{12}/z_{22}$$

$$h_f = -z_{21}/z_{22}, \quad h_o = 1/z_{22}$$

#### [別法]

これは、次のようにしても求められる。

$$\begin{aligned} h_i &= \left( \frac{v_1}{i_1} \right)_{v_2=0} = \left( \frac{z_{11}i_1 + z_{12}i_2}{i_1} \right) \\ &= \frac{z_{11}i_1 - z_{12}z_{21}/z_{22}i_1}{i_1} = z_{11} - \frac{z_{12}z_{21}}{z_{22}} \end{aligned}$$

$$h_r = \left( \frac{v_1}{v_2} \right)_{i_1=0} = \left( \frac{z_{12}i_2}{z_{22}i_2} \right) = \frac{z_{12}}{z_{22}}$$

$$h_f = \left( \frac{i_1}{i_2} \right)_{v_2=0} = \left( \frac{i_1}{-z_{22}/z_{21}i_1} \right) = -\frac{z_{21}}{z_{22}}$$

$$h_o = \left( \frac{i_2}{v_2} \right)_{i_1=0} = \left( \frac{i_2}{z_{22}i_2} \right) = \frac{1}{z_{22}}$$

(4-2)  $h$  パラメータから  $z$  パラメータを求める

$$\begin{bmatrix} v_1 \\ i_2 \end{bmatrix} = \begin{bmatrix} h_i & h_r \\ h_f & h_o \end{bmatrix} \begin{bmatrix} i_1 \\ v_2 \end{bmatrix} \dots (2) \text{ から、}$$

$$|H| = h_i h_o - h_r h_f \text{ として、}$$

$$\begin{bmatrix} i_1 \\ v_2 \end{bmatrix} = \begin{bmatrix} h_i & h_r \\ h_f & h_o \end{bmatrix}^{-1} \begin{bmatrix} v_1 \\ i_2 \end{bmatrix} = \frac{1}{|H|} \begin{bmatrix} h_o & -h_r \\ -h_f & h_i \end{bmatrix} \begin{bmatrix} v_1 \\ i_2 \end{bmatrix}$$

$$v_2 = \frac{-h_f}{|H|} v_1 + \frac{h_i}{|H|} i_2 \text{ を (2) の } v_1 \text{ に代入して、}$$

$$v_1 = h_i i_1 + h_r v_2 = h_i i_1 - \frac{h_r h_f}{|H|} v_1 + \frac{h_r h_i}{|H|} i_2$$

$$v_1 \left( 1 + \frac{h_r h_f}{|H|} \right) = h_i i_1 + \frac{h_r h_i}{|H|} i_2$$

$$v_1 = \frac{h_i |H|}{|H| + h_r h_f} i_1 + \frac{h_r h_i}{|H| + h_r h_f} i_2 = \frac{|H|}{h_o} i_1 + \frac{h_r}{h_o} i_2$$

$$v_2 = \frac{-h_f}{|H|} v_1 + \frac{h_i}{|H|} i_2$$

$$= \frac{-h_f h_i}{|H| + h_r h_f} i_1 + \frac{-h_f h_r h_i}{|H|(|H| + h_r h_f)} i_2 + \frac{h_i}{|H|} i_2$$

$$= \frac{-h_f h_i}{|H| + h_r h_f} i_1 + \frac{h_i}{|H| + h_r h_f} i_2 = -\frac{h_f}{h_o} i_1 + \frac{1}{h_o} i_2$$

すなわち、

$$\begin{bmatrix} v_1 \\ v_2 \end{bmatrix} = \begin{bmatrix} |H|/h_o & h_r/h_o \\ -h_f/h_o & 1/h_o \end{bmatrix} \begin{bmatrix} i_1 \\ i_2 \end{bmatrix}$$

$$z_{11} = |H|/h_o = h_i - h_f h_r / h_o, \quad z_{12} = h_r / h_o$$

$$z_{21} = -h_f / h_o, \quad z_{22} = 1 / h_o$$

[別法]

これは、次のようにしても求められる。

$$z_{11} = \left( \frac{v_1}{i_1} \right)_{i_2=0} = \left( \frac{h_i i_1 + h_r v_2}{i_1} \right)_{i_2=0}, \quad h_f i_1 + h_o v_2 = 0$$

$$z_{11} = \frac{h_i i_1 - h_r h_f / h_o i_1}{i_1} = h_i - \frac{h_f h_r}{h_o}$$

$$z_{12} = \left( \frac{v_1}{i_2} \right)_{i_1=0} = \left( \frac{h_r v_2}{h_o v_2} \right)_{i_1=0} = \frac{h_r}{h_o}$$

$$z_{21} = \left( \frac{v_2}{i_1} \right)_{i_2=0} = \left( \frac{v_2}{-v_2 h_o / h_f} \right)_{i_2=0} = -\frac{h_f}{h_o}$$

$$z_{22} = \left( \frac{v_2}{i_2} \right)_{i_1=0} = \left( \frac{v_2}{h_o v_2} \right)_{i_1=0} = \frac{1}{h_o}$$

(4-3) h パラメータを z パラメータを利用して T パラメータで表す

a. ベース接地回路

$$\begin{aligned} v_1 &= (r_e + r_b)i_1 + r_b i_2 \\ v_2 &= (\alpha r_c + r_b)i_1 + (r_b + r_c)i_2 \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} z_{11b} &= r_e + r_b, z_{12b} = r_b \\ z_{21b} &= \alpha r_c + r_b, z_{22b} = r_b + r_c \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} h_{ib} &= z_{11b} - \frac{z_{12b}z_{21b}}{z_{22b}} \\ &= r_e + r_b - \frac{r_b(\alpha r_c + r_b)}{r_b + r_c} \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} &\approx r_e + r_b - \alpha r_b \\ &\approx r_e + r_b(1 - \alpha), \because r_c \gg r_b \end{aligned}$$

$$h_{rb} = \frac{z_{12b}}{z_{22b}} = \frac{r_b}{r_b + r_c} \approx \frac{r_b}{r_c}$$

$$h_{fb} = -\frac{z_{21b}}{z_{22b}} = -\frac{\alpha r_c + r_b}{r_b + r_c} \approx -\alpha$$

$$h_{ob} = \frac{1}{z_{22b}} = \frac{1}{r_b + r_c} \approx \frac{1}{r_c}$$

b. エミッタ接地回路

$$\begin{aligned} v_1 &= (r_b + r_e)i_1 + r_e i_2 \\ v_2 &= (r_e - \alpha r_c)i_1 + (r_c - \alpha r_c + r_e)i_2 \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} z_{11e} &= r_b + r_e, z_{12e} = r_e \\ z_{21e} &= r_e - \alpha r_c, z_{22e} = (1 - \alpha)r_c + r_e \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} h_{ie} &= z_{11e} - \frac{z_{12e}z_{21e}}{z_{22e}} \\ &= (r_b + r_e) - \frac{r_e(r_e - \alpha r_c)}{(1 - \alpha)r_c + r_e} \\ &= (r_b + r_e) - \frac{\{(1 - \alpha)r_c + r_e\}r_e - r_e r_c}{(1 - \alpha)r_c + r_e} \end{aligned}$$

$$\approx r_b + r_e / (1 - \alpha)$$

$$h_{re} = \frac{r_e}{(1 - \alpha)r_c + r_e} \approx \frac{r_e}{(1 - \alpha)r_c}$$

$$h_{fe} = -\frac{z_{21e}}{z_{22e}} = -\frac{r_e - \alpha r_c}{(1 - \alpha)r_c + r_e}$$

$$\approx \frac{\alpha}{1 - \alpha} = \beta$$

$$h_{oe} = \frac{1}{z_{22e}} = \frac{1}{(1 - \alpha)r_c + r_e} \approx \frac{1}{(1 - \alpha)r_c}$$

c. コレクタ接地回路

$$\begin{aligned} v_1 &= (r_b + r_c)i_1 + (r_c - r_m)i_2 \\ v_2 &= r_c i_1 + (r_c - r_m + r_e)i_2 \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} z_{11c} &= r_b + r_e, z_{12c} = (1 - \alpha)r_c \\ z_{21c} &= r_c, z_{22c} = (1 - \alpha)r_c + r_e \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} h_{ic} &= z_{11c} - \frac{z_{12c}z_{21c}}{z_{22c}} \\ &= \frac{(r_b + r_e)((1 - \alpha)r_c + r_e) - r_c r_c (1 - \alpha)}{(1 - \alpha)r_c + r_e} \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} &= \frac{\{(1 - \alpha)r_c + r_e\}r_b + r_c r_e - r_e r_b}{(1 - \alpha)r_c + r_e} \\ &\approx r_b + r_e / (1 - \alpha) \end{aligned}$$

$$h_{rc} = \frac{(1 - \alpha)r_c}{(1 - \alpha)r_c + r_e} \approx 1$$

$$h_{fc} = -\frac{z_{21c}}{z_{22c}} = -\frac{r_c}{(1 - \alpha)r_c + r_e} \approx \frac{-1}{1 - \alpha}$$

$$h_{oc} = \frac{1}{z_{22c}} = \frac{1}{(1 - \alpha)r_c + r_e} \approx \frac{1}{(1 - \alpha)r_c}$$

#### (4-4) Tパラメータをhパラメータで表す

##### a. ベース接地回路

前頁の結果から、

$$h_{ib} = r_e + r_b - \frac{r_b(\alpha r_c + r_b)}{r_b + r_c}$$

$$\approx r_e + r_b - \alpha r_b \dots\dots b1$$

$$h_{rb} = \frac{r_b}{r_b + r_c} \dots\dots b2$$

$$h_{fb} = -\frac{\alpha r_c + r_b}{r_b + r_c} \approx -\alpha \dots\dots b3$$

$$h_{ob} = \frac{1}{r_b + r_c} \dots\dots b4$$

b2, b4から、 $r_b = h_{rb} / h_{ob}$ ,

b4から、

$$r_c = 1/h_{ob} - r_b = (1 - h_{rb}) / h_{ob}$$

b1, b3から、

$$r_e \approx h_{ib} - (1 - \alpha)r_b$$

$$= h_{ib} - \frac{(1 - \alpha)h_{rb}}{h_{ob}}$$

$$= h_{ib} - \frac{(1 + h_{fb})h_{rb}}{h_{ob}}$$

##### b. エミッタ接地回路

前頁の結果から、

$$h_{ie} \approx r_b + r_e / (1 - \alpha) \dots\dots e1$$

$$h_{re} \approx \frac{r_e}{(1 - \alpha)r_c} \dots\dots e2$$

$$h_{fe} \approx \frac{\alpha}{1 - \alpha} = \beta \dots\dots e3$$

$$h_{oe} \approx \frac{1}{(1 - \alpha)r_c} \dots\dots e4$$

e2, e4から、 $r_e \approx h_{re} / h_{oe}$ ,

e3から、 $\alpha = \beta / (1 + \beta)$

e4から、

$$r_c \approx \frac{1}{(1 - \alpha)h_{oe}} = \frac{1 + \beta}{h_{oe}} = \frac{1 + h_{fe}}{h_{oe}}$$

e1, e3から、

$$r_b \approx h_{ie} - r_e / (1 - \alpha)$$

$$= h_{ie} - \frac{h_{re}}{h_{oe}(1 - \alpha)}$$

$$= h_{ie} - \frac{h_{re}(1 + h_{fe})}{h_{oe}}$$

##### c. コレクタ接地回路

前頁の結果から、

$$h_{ic} \approx r_b + r_e / (1 - \alpha) \dots\dots c1$$

$$h_{rc} = \frac{(1 - \alpha)r_c}{(1 - \alpha)r_c + r_e} \approx 1 \dots\dots c2$$

$$h_{fc} = -\frac{r_c}{(1 - \alpha)r_c + r_e} \approx \frac{-1}{1 - \alpha} \dots\dots c3$$

$$h_{oc} = \frac{1}{(1 - \alpha)r_c + r_e} \approx \frac{1}{(1 - \alpha)r_c} \dots\dots c4$$

c3, c4から、 $r_c = -h_{fc} / h_{oc}$ ,

c3から、 $\alpha \approx (1 + h_{fc}) / h_{fc}$

c2, c4から、

$$h_{rc} = 1 - \frac{r_e}{(1 - \alpha)r_c + r_e} = 1 - h_{oc}r_e$$

$$\therefore r_e = \frac{1 - h_{rc}}{h_{oc}}$$

c1から、

$$r_b \approx h_{ic} - r_e / (1 - \alpha)$$

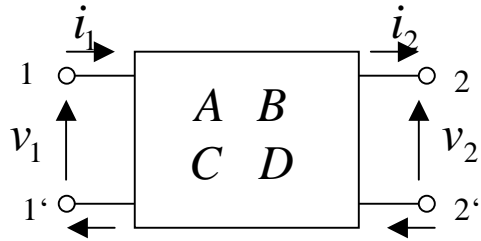
$$\approx h_{ic} + \frac{h_{fc}(1 - h_{rc})}{h_{oc}}$$

	ベース接地	エミッタ接地	コレクタ接地
$h_i$	$= r_e + r_b - \frac{r_b(\alpha r_c + r_b)}{r_b + r_c} \approx r_e + r_b - \alpha r_b$	$\approx r_b + r_e / (1 - \alpha)$	$\approx r_b + r_e / (1 - \alpha)$
$h_r$	$= \frac{r_b}{r_b + r_c}$	$\approx \frac{r_e}{(1 - \alpha)r_c}$	$= \frac{(1 - \alpha)r_c}{(1 - \alpha)r_c + r_e} \approx 1$
$h_f$	$= -\frac{\alpha r_c + r_b}{r_b + r_c} \approx -\alpha$	$\approx \frac{\alpha}{1 - \alpha} = \beta$	$= -\frac{r_c}{(1 - \alpha)r_c + r_e} \approx \frac{-1}{1 - \alpha}$
$h_o$	$= \frac{1}{r_b + r_c}$	$\approx \frac{1}{(1 - \alpha)r_c}$	$= \frac{1}{(1 - \alpha)r_c + r_e} \approx \frac{1}{(1 - \alpha)r_c}$

T パラメータをh パラメータで表す

	ベース接地	エミッタ接地	コレクタ接地
$r_e$	$\approx h_{ib} - (1 + h_{fb})h_{rb} / h_{ob}$	$\approx h_{re} / h_{oe}$	$= (1 - h_{rc}) / h_{ro}$
$r_b$	$= h_{rb} / h_{ob}$	$\approx h_{ie} - h_{re} (1 + h_{fe}) / h_{oe}$	$\approx h_{ic} + h_{fc} (1 - h_{rc}) / h_{oc}$
$r_c$	$= (1 - h_{rb}) / h_{ob} \approx 1 / h_{ob}$	$\approx (1 + h_{fe}) / h_{oe}$	$= -h_{fc} / h_{oc}$
$\alpha$	$\approx -h_{fb}$	$\approx h_{fe} / (1 + h_{fe})$	$\approx (1 + h_{fc}) / h_{fc}$
$r_m = \alpha r_c$	$\approx -h_{fb} / h_{ob}$	$\approx h_{fe} / h_{oe}$	$\approx -(1 + h_{fc}) / h_{oc}$

## (5) Fパラメータによる等価回路



次式が成り立つように  $F$  パラメータを定める。

ただし、二次側の電流の向きは、 $h$  パラメータ方式と逆に流れ出る向きを正に取る。

$$v_1 = Av_2 + Bi_2$$

$$i_1 = Cv_2 + Di_2$$

行列表示すると、次式になる。

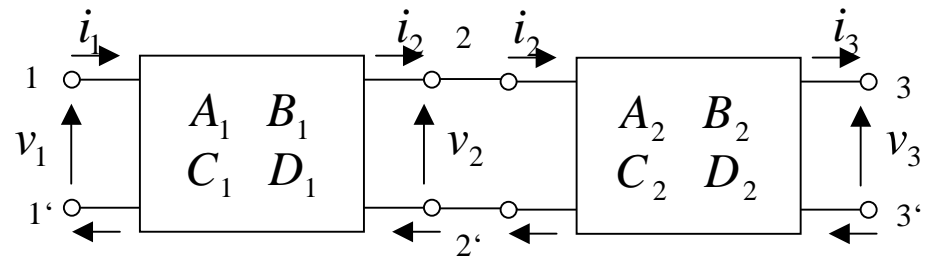
$$\begin{bmatrix} v_1 \\ i_1 \end{bmatrix} = \begin{bmatrix} A & B \\ C & D \end{bmatrix} \begin{bmatrix} v_2 \\ i_2 \end{bmatrix}$$

この方式では、カスケードに多段接続したとき、合成の  $F$  パラメータは、行列の積で表せる。

$$\begin{bmatrix} v_1 \\ i_1 \end{bmatrix} = \begin{bmatrix} A_1 & B_1 \\ C_1 & D_1 \end{bmatrix} \begin{bmatrix} v_2 \\ i_2 \end{bmatrix}, \begin{bmatrix} v_2 \\ i_2 \end{bmatrix} = \begin{bmatrix} A_2 & B_2 \\ C_2 & D_2 \end{bmatrix} \begin{bmatrix} v_3 \\ i_3 \end{bmatrix}$$

のとき、

$$\begin{bmatrix} v_1 \\ i_1 \end{bmatrix} = \begin{bmatrix} A_1 & B_1 \\ C_1 & D_1 \end{bmatrix} \begin{bmatrix} A_2 & B_2 \\ C_2 & D_2 \end{bmatrix} \begin{bmatrix} v_3 \\ i_3 \end{bmatrix} \dots (\text{右上図})$$



$F$ パラメータの意味

$$A = \left( \frac{v_1}{v_2} \right)_{i_2=0}, \text{二次側開放時の電圧比}$$

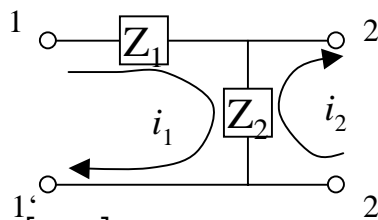
$$B = \left( \frac{v_1}{i_2} \right)_{v_2=0}, \text{二次側短絡時の伝達インピーダンス}$$

$$C = \left( \frac{i_1}{v_2} \right)_{i_2=0}, \text{二次側開放時の伝達アドミタンス}$$

$$D = \left( \frac{i_1}{i_2} \right)_{v_2=0}, \text{二次側短絡時の電流比}$$

$R, L, C, M$ のみからなる回路(自然回路)では、 $AD - BC = 1$

例題



[別法]

$$v_1 = (Z_1 + Z_2)i_1 - Z_2i_2$$

$$v_2 = Z_2i_1 - Z_2i_2$$

この2式から、

$$v_1 = \{(Z_1 + Z_2)/Z_2\}v_2 + Z_1i_2$$

$$i_1 = v_2/Z_2 + i_2$$

$$A = \left( \frac{v_1}{v_2} \right)_{i_2=0} = \frac{i_1(Z_1 + Z_2)}{i_1Z_2} = \frac{Z_1 + Z_2}{Z_2}$$

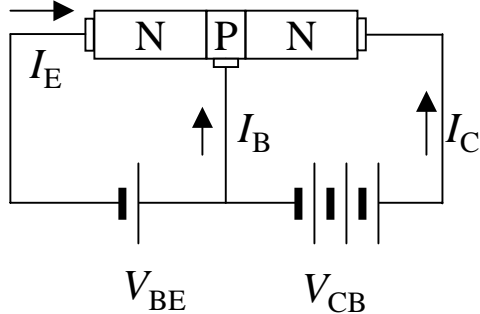
$$B = \left( \frac{v_1}{i_2} \right)_{v_2=0} = \frac{i_1Z_1}{i_1} = Z_1$$

$$C = \left( \frac{i_1}{v_2} \right)_{i_2=0} = \frac{i_1}{i_1Z_2} = \frac{1}{Z_2}$$

$$D = \left( \frac{i_1}{i_2} \right)_{v_2=0} = \frac{i_1}{i_1} = 1$$

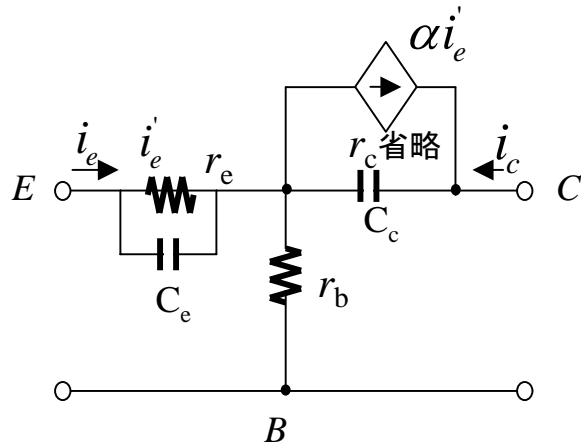
$$AD - BC = \frac{Z_1 + Z_2}{Z_2} - \frac{Z_1}{Z_2} = \frac{Z_2}{Z_2} = 1$$

## (6) 高周波等価回路



高周波では、  
 ①ベース領域でキャリアの拡散に時間がかかる。(BE間が問題。CE間では逆方向バイアス電圧がキャリアを加速するので速度は低下しない。)  
 ②CB間接合容量 $C_c$ や、ベース広がり抵抗のため増幅度が低下する。

このため、コンデンサ $C_c, C_e$ を抵抗に並列に挿入した等価回路で代表させる。 $r_c$ は大きな値なので省略することが多い。



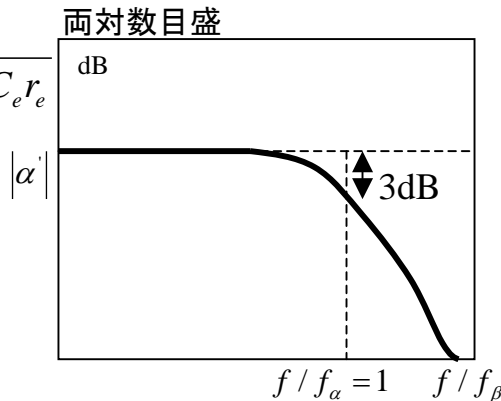
[\$\alpha'\$ の計算,  $r_c$  省略]

$$i'_e = \frac{i_e \times 1/r_e}{1/r_e + j\omega C_e} = \frac{i_e}{1 + j\omega C_e r_e}$$

$$i_c = \alpha i'_e = \frac{\alpha i_e}{1 + j\omega C_e r_e}$$

$$\alpha' = \frac{i_c}{i_e} = \frac{\alpha}{1 + j\omega C_e r_e}$$

$$|\alpha'| = \frac{\alpha}{\sqrt{1 + (\omega C_e r_e)^2}}$$



$|\alpha'|/\alpha = 1/\sqrt{2}$  すなわち、3dB 低下する周波数を  $\alpha$  遮断周波数 ( $\alpha$  カットオフ周波数)  $f_\alpha$  と呼ぶ。

$$2\pi f_\alpha C_e r_e = 1 \text{ から、 } f_\alpha = \frac{1}{2\pi C_e r_e}, \alpha' = \frac{\alpha}{1 + jf/f_\alpha}$$

[エミッタ接地電流増幅率  $\beta'$  の計算]

$$\beta' = \frac{\alpha'}{1 - \alpha'} = \frac{\frac{\alpha}{1 + jf/f_\alpha}}{1 - \frac{\alpha}{1 + jf/f_\alpha}} = \frac{\alpha}{1 - \alpha + jf/f_\alpha}$$

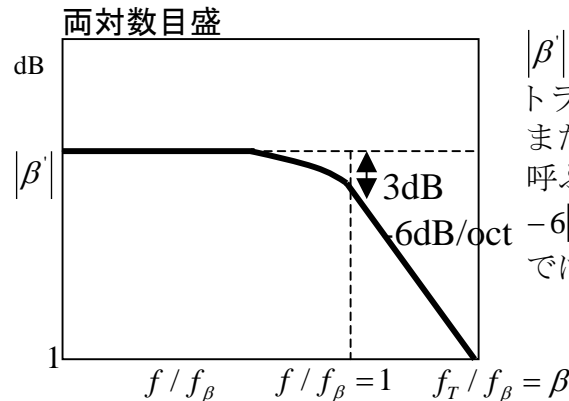
$$= \frac{\alpha/(1 - \alpha)}{1 + jf/f_\alpha/(1 - \alpha)} = \frac{\beta}{1 + jf/f_\alpha/(1 - \alpha)} = \frac{\beta}{1 + jf/f_\beta}$$

$$f_\beta = f_\alpha(1 - \alpha) = f_\alpha/(1 + \beta)$$

$|\beta'| = \beta/\sqrt{2}$  となる周波数  $f_\beta$  を、 $\beta$  遮断周波数 と呼ぶ。上式から、 $f_\beta \ll f_\alpha$  である。

$f \gg f_\beta$  では、 $\beta' = -j\beta f_\beta/f$ ,  $f \rightarrow 2f$  で  $\beta' \rightarrow 1/2\beta'$  すなわち、 $\beta'$  は  $-6[dB/oct]$  で低下する。

oct = オクターブ (2倍周波)



$|\beta'| = 1$  になる周波数  $f_T$  を、トランジション周波数、または、利得帯域幅と呼ぶ。 $f_T = \beta f_\beta$  である。  
 $-6[dB/oct]$  の高周波領域では、 $|\beta'| = f_T/f$  と表せる。